

令和4年度東京都サービス管理責任者等研修検討会 活動報告

概要

サービス管理責任者研修及び児童発達支援管理責任者研修（以下「サービス管理責任者等研修」という。）を円滑かつ効果的に行えるよう、研修カリキュラム等について検討する。

【活動方針】

- ・「東京都のサービス提供事業所において障害児者の豊かな生活の実現に向けて取り組む現場のリーダーの姿 Ver.4」に基づき、研修内容を検討する
- ・基礎研修、実践研修、更新研修で使用する教材のブラッシュアップを図るとともに、研修全体を見渡し、つながりを意識した研修プログラムを作成する
- ・各研修ファシリテーター説明会の内容を検討する
- ・専門コース別研修（障害児支援）を新たなプログラムで実施する
- ・令和6年度に実施する更新研修のプログラム案を作成する
- ・質の高い研修を継続して実施するため、次期講師の育成と講師間の関係づくりを目的としたサービス管理責任者等研修演習指導者養成研修を実施する

【委員構成】

		氏名	所属
1		会田 真一	社会福祉法人ひらイルミナル
2	副委員長	秋谷 直子	社会福祉法人東京コロニー
3		浅野 日奈子	社会福祉法人南風会
4		岡田 哲也	社会福祉法人雲柱社
5		小出 由貴子	社会福祉法人友愛十字会
6		相良 宏司	社会福祉法人東京援護協会
7	委員長	妹尾 和美	明星大学
8		徳武 孝	社会福祉法人足立邦栄会
9	副委員長	橋爪 亮乃	社会福祉法人さくらの園
10		樋口 勝	社会福祉法人本郷の森
11		皆川 直美	社会福祉法人からしだね
12	副委員長	宮田 理恵	特定非営利活動法人めぶぎ
13		横山 美紀	社会福祉法人東京コロニー
14		吉田 遊佑	社会福祉法人イリアンソス
15		渡辺 哲男	社会福祉法人調布市社会福祉事業団

【各研修の検討体制】 ◎印：チームリーダー

検討チーム	委員
基礎研修	◎橋爪、岡田、相良、横山、吉田
実践研修	◎宮田、浅野、小出、樋口、渡辺
更新研修	◎秋谷、会田、徳武、皆川
演習指導者養成研修	岡田、相良

・年4回の検討会以外に、各チームとも対面式やオンラインで4回程度の打合せを行った。

【活動状況】

	日程	検討事項
第1回	5月20日	委員長・副委員長選出 年間研修実施計画について 年間活動方針案及び計画案について 各研修検討チーム活動スケジュールについて つながりを意識した研修プログラムの作成について
第2回	8月29日	更新研修「サービスの質の向上と人材育成のためのスーパービジョンに関する講義及び演習」プログラム案について つながりを意識した研修プログラムの作成について 各研修プログラムの作成について
第3回	11月11日	令和4年度サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者指導者養成研修受講報告 各研修プログラムの作成について
第4回	3月9日	年間のまとめ つながりを意識した研修プログラムの作成について 令和4年度に向けての引継ぎ事項の確認

活動成果

【活動成果1 研修プログラムの検討と教材作成】

○基礎研修

- ・研修3日目の講義について国のカリキュラムに合わせる形でプログラムの再編成を行った。また、講義内容の見直しも行い、動画配信プログラムとして作成した。
- ・演習をZoomによるオンラインで実施することになり、個人ワークの時間も可能な限りグループワークの時間に組み込むなど、ファシリテーターの協力を得て研修を進める形に内容を修正した。
- ・研修の教室進行・ファシリテーターを対象に、ファシリテーター説明会を実施し、研修の

内容と研修におけるファシリテーションのポイントを伝えた。また、研修後には、振り返り会実施し、次年度の教材作成に向けて情報収集を行った。

- ・令和5年度の集合形式で行う研修に向けて、演習内容の検討及び資料の修正を行った。

○実践研修

- ・令和3年度の演習ノート及び進行スライドを見直し、より伝わりやすい説明を加えるなど、ブラッシュアップを図った。
- ・Zoomによるオンライン実施での研修の中でも受講者による事例検討会を組み込むなど、動画の視聴・考察だけではなく、実際に体験できるような内容に修正した。
- ・研修の教室進行・ファシリテーターを対象に、ファシリテーター説明会を実施し、研修の内容と研修におけるファシリテーションのポイントを伝えた。また、研修後には、振り返り会を実施し、次年度の教材作成に向けて情報収集を行った。

○更新研修

- ・令和3年度と同様に演習を1日に2日程実施するために、演習の一部を動画配信で実施した。
- ・演習について、動画配信部分と双方向部分の内容を再検討し、グループワークの時間を増やすための工夫をした。
- ・令和6年度から実施するスーパービジョン部分のプログラム案を作成し、検討会で共有した。
- ・研修の教室進行・ファシリテーターを対象に、ファシリテーター説明会を実施し、研修の内容と研修におけるファシリテーションのポイントを伝えた。また、研修後には、振り返り会を実施し、次年度の教材作成に向けて情報収集を行った。

○専門コース別研修

- ・今年度も障害児支援についての内容を実施した。国の標準カリキュラムを参考にし令和3年度検討会で再構成したプログラム案をもとに、今年度のプログラムを作成し実施した。

○演習指導者養成研修

- ・ファシリテーション技術やサービス管理責任者等研修制度の全体像、基礎研修の概要やファシリテーターとしての心構え等を理解した上で、基礎研修のファシリテーター説明会への参加や基礎研修の演習指導ができるよう、プログラム内容を検討した。

【活動成果2 講師の養成】

- ・演習講師や関係団体等からサービス管理責任者等研修演習指導者養成研修への推薦者を募り研修を実施した。(修了者11名)。
- ・基礎研修、実践研修、更新研修の実施前にファシリテーターへの説明会を実施した。

【活動成果3 つながりを意識した研修プログラムについての検討】

- ・検討会で検討するとともに、各研修のチームリーダーによるリーダー会にてつながりを意識した研修プログラムを作成するための工夫の検討を行った。

リーダー会のまとめ

- ・「リーダーの姿」は、各研修の目的の下位項目は優先順位がそれぞれ違うため、揃えることは難しい。ver.4の内容はそのままとし、学びのステップを加え、ver.5に更新する。(資料2-1)
- ・それぞれの研修で身に着けることや、研修が進むにつれステップアップしていくことを具体的に示せる資料を作成し、「リーダーの姿」とあわせて各研修の講義の前に行っているオリエンテーションで説明する。(資料2-2)
- ・各研修の中で、それまでの研修で学んだことについて要所要所で触れ、振り返ることができる時間を持つ。
- ・地域課題を深めることは、経験年数から考えて実践研修では難しいが、令和5年度の更新研修の該当部分は事前課題と動画配信で実施予定。実践研修と更新研修のどちらで扱うかは、令和6年度の研修で整理したい。
- ・研修で扱う会議の名称について、個別支援計画作成に関わる会議について、個別支援会議に統一したい。

【活動成果4 サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者指導者養成研修への参加】

- ・令和4年9月13日から16日に開催したサービス管理責任者・児童発達支援管理責任者指導者養成研修が開催され、基礎研修、更新研修、実践研修及び、意思決定支援、障害児支援、就労支援の3つの専門コース別研修のプログラムへ検討会委員等6名が参加し、第2回検討会で受講報告をした。また、研修で得た情報を研修プログラムに反映した。

【活動成果5 その他】

- ・基礎研修、実践研修、更新研修、専門コース別研修事業の受託者が、オブザーバーとして検討会に出席。各研修の実施状況等について報告するとともに、検討会での検討結果を踏まえて、各研修を実施した。

次年度の取り組み

基礎研修	<ul style="list-style-type: none"> ・オンラインになる前の対面で行った内容にプラスし、この何年かで培ってきたものを生かし研修を作っていく。 ・OJTについて、基礎研修が終わった後に何をしたらいいのかを具体的に説明し、実践研修につなげていく工夫をする。 ・何より支援プロセスを明確にさせたい。 ・会議については、事業所内の会議に絞り、しっかり理解できるよう基礎に徹して進める。 ・児童や重度の方の部分は、なるべくコラムや、演習の中でファシリテーターからコメントを指定するといった対応で、できるだけ情報提供をすることとし、本文は、なるべく分かりやすい作りで作成する。
実践研修	<ul style="list-style-type: none"> ・受講者は、個別支援計画を作成したことがない、新規事業立ち上げで先輩がいなかったなどのOJTの状況で、OJTが少し不明確なところがあった。OJTについて基礎研修終了時に伝える内容を基礎研修チームと調整していきたい。 ・実践研修は対面で実施するのが初めてになるため、ロールプレイに力を入れる。演習3の事例検討会のロールプレイは動画を見ながら事例検討会を行い、演習5の個別支援会議でもロールプレイを行う方向で考える。 ・演習6の協議会に関しては、事例からというところを重視し地域課題について考えるような内容を検討したい。
更新研修	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度の内容を変える形ではなく、令和1年度、2年度に実施した集合研修を参考にし、プログラムを作成する。 ・実践研修や基礎研修とのつながりも含めて、自立支援協議会や、事前課題の見直しをする。 ・会場集合でのグループワークの進め方や、グループワークが活発に行えるように事前課題を深められるよう検討する。 ・OJTについて、動画配信の中で、サビ管・児発管としての自己検証に少し触れる形で入れたい。 ・令和6年度から実施するスーパービジョン部分の反映については、令和5年度の研修実施期間が終わり次第、6年度に向けて進めていく。